

高等学校 地理歴史科「地理総合」学習指導案

令和6年1月24日(水)

第1学年9組 (38名)

授業者 柳田 雄一

1 教材 『高等学校 新地理総合』『新詳高等地図』(帝国書院)
『新編 地理資料2023』(とうほう)

2 単元名 第3部 持続可能な地域づくりと私たち ― 第1章 自然環境と防災

3 単元等について

(1) 単元観

日本の自然環境と自然災害についての学習を終え、過去の自然災害の経験と防災・減災への取り組みから、「持続可能な地域」の在り方について考えていく単元である。

自然災害の常襲国といえる日本において「持続可能な地域」の在り方について考えることは、これまでの地理総合での学びを振り返り、自然環境と人間社会の関係性を自分事として置き換えていく作業である。このような過程と過去の自然災害の経験に学ぶことを通じて、これからの社会において防災・減災に取り組む主体としての問題意識・当事者意識を育みたい。

(2) 生徒・学級観

地理総合の学習に対して意欲的な生徒が比較的多く、学習内容を自分の生活経験や社会の出来事に関連付けながら、話し合い等の活動にも積極的に取り組んでいる生徒がみられる。一方で、これまでの学習経験からか、自分の考えや意見に自信がもてなかったり、地理の学習に苦手意識をもっていたりする生徒も一部にみられる。

大学入学共通テスト等を見据えた力を身につけさせる必要性はあるものの、世界のさまざまな地理的事象について関心をもち、その関係性や背景を追究していく力、世界や地域の在り方について考える態度を育みたい。何より単なる受験科目としてでなく、地理の学習に親しみ、これからの生活や学びのプラットフォームとして位置づけられるような意識をもってほしい。

(3) 指導観

日本の過去の自然災害の経験として東北地方太平洋沖地震(東日本大震災)を取り上げる。様々な分野における分析・評価にふれつつ、被災した地域や被災者(犠牲者)の存在にも目を向けさせることで、客観的理解・共感的理解の双方の充実を図る。これらを通じて、教科書に記載されている内容をその背景から知るとともに、防災・減災に取り組む主体としての問題意識・当事者意識を育みたい。また具体例を出し合うような複雑でない活動を取り入れ、自分の考えや意見に少しずつ自信をもてるようにしながら、グループで正解を導いたり、意見を形成したりする機会を積極的に設け、活発な対話が行われるような環境づくりにも努めたい。

4 単元の目標及び評価規準

(1) 単元の目標

- ・日本の自然環境について、日本の成り立ちから大地形の分布などの特徴を理解し、気候因子として地形が与える影響を踏まえて、気候の地域的特徴を説明することができる。 知・技
- ・日本の自然災害について、自然現象として発生メカニズム・プロセスを理解し、自然災害が人間社会に与える影響を地域に着目しながら考察することができる。 思・判・表
- ・日本の自然環境・自然災害と人々の生活の関係性について、位置や分布、結び付きなどを白地図や図表などにまとめることができる。 思・判・表
- ・日本の過去のさまざまな自然災害の経験に関心をもち、防災や減災に取り組む主体として生かすべき成果や課題を見出そうとしている。 主体性

(2) 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
日本の地形の形成プロセスや位置、気候分布の地域的特徴を理解している 自然災害の発生・被害地域の特徴を地図から適切に読み取ることができる。	自然災害が社会に与える影響について、被災地の地域的特徴から考察している。 日本の地形と自然災害に関する地理的情報を、図表などにまとめることができる。	話し合い活動などから、地理的な見方・考え方を広げたり深めたりしようとしている。 日本の過去の自然災害から得られた教訓を生かそうとしている。

5 単元指導計画（全7時間扱い）

時	おもな学習内容・学習活動
1～3	<u>日本の地形と自然災害</u> 1 日本の成り立ちと地形 日本列島の形成過程と地形の特徴を地体構造から理解する。 日本周辺の地体構造や日本列島の地形の特徴を白地図にまとめる。 日本の地形と人々の生活の関係性について考える。 2 地震・津波災害 地震と津波のメカニズムと特徴を理解する。 過去の日本の地震災害の特徴をまとめる。 地震による二次災害とその被害について考える。 3 火山災害 日本の火山の分布と火山地形について理解する。 過去の日本の火山災害の特徴をまとめる。 火山と人々の生活の関係性について考える。
4・5	<u>日本の気候と自然災害</u> 4 日本の気候 日本の気候分布と地域的特徴をまとめる。 気候因子が与える日本の気候への影響について考える。 気候と人々の生活の関係性について考える。 5 気象災害 日本における水害の起こりやすさについてまとめる。 開発と都市型水害の関係性について考える。 高潮のメカニズムと被害について理解する。
6・7	<u>自然災害と防災・減災の取り組み</u> 6 自然災害への取り組み ① 6 限目については、「6 本時について」を参照。 7 自然災害への取り組み ② 防災・減災の主体の違いについて理解する。 自助・共助・公助が果たす役割とあり方について考える。 被災地支援のあり方と復興について考える。

6 本時について

(1) 本時の目標

- ・東北地方太平洋沖地震について、津波高と津波被害の地域的特徴を、被災地域の地形や土地利用と結び付けながら説明することができる。知・技
- ・自然災害による被害規模を抑えるための取り組みについて、誘因となる自然現象の規模と被災地となる地域社会の脆弱性の関係性から考察することができる。思・判・表
- ・東日本大震災のさまざまな被災経験に関心をもち、防災や減災に取り組む主体として生かすべき成果や課題を見出そうとしている。主体性

(2) 授業展開案

時間	学習活動	指導上の留意点・支援等	資料等
導入 3分	☐ 前時までの学習内容を振り返る。 ☐ 本時の学習内容を確認する。	・単元全体における本時の位置と目標を確認する。	
展開① 17分	☐ 地理において自然災害に含まれる Hazard と Disaster の関係性について理解する。 ☐ 東北地方太平洋沖地震の津波被害の地域的特徴について整理する。 ■三陸海岸(リアス海岸) ⇒ 山地がせまり出入りに富む湾奥へ集中して波高が増大 ■仙台以南(海岸平野) ⇒ 単調で内陸まで緩傾斜 波高は低いが内陸まで遡上 ⇒ Hazard に対する「脆弱性」 ※ SDGs ゴール 11「強靱性」 IPCC (2014)「曝露」 COP 27「損失と損害」	・地図帳で地形の広がりを確認する。 ・リアス海岸の形成過程と特徴については、必要に応じて図示する。 ・同じ Hazard でも被災する地域の特徴によって被害規模に違いが生じることを強調する。 ・Wisner による定式を導入し、自然災害と社会の関係性を理解させる。 ※以下の内容については、時間をみて補足する。	地図帳 p.131・132 教科書 p.196 図2 資料①・② 資料③・④
展開② 25分	☐ 自然災害の被害規模を抑えるための取り組みについて考える。 ■ハード/ソフト対策 ■釜石港湾口防波堤 ⇒ 設計外力を超える津波 一定の減災効果は発揮 ■大川小学校の津波被害 ⇒ 震災遺構として保存 ☐ ハード対策とソフト対策の機能と関係性について考える。 ■技術発達による災害の克服 (⇒ 隠されたリスクの増大) ⇒ ソフト対策の重要性 ■正常性バイアス ⇒ 自分たちで判断・行動する力	・2分計時し自分で考え、さらに3分計時し周りと共有し、数人を指名して板書する。 ・どのような対策も、ある想定範囲でしか機能し得ないことを強調する。 ・動画や資料をみせ、行動することの重要性を強調する。 ・グラフを板書しながら、隠れたリスクの増大を理解させる。 ・具体例を挙げ、誰にでもある心のはたらきということ意識させる。	資料⑤ 資料⑥・⑦・⑧ 資料③・④ 資料⑨
まとめ 5分	☐ 本時の学習内容を振り返る。 ☐ 次回の学習内容を確認する。	・本時の学習を踏まえて、自分事に置き換えて考える姿勢を伝える。	

【 参考・引用文献等 】（資料①～⑨と対応）

- ①ANNnewsCH, 2011/04/30,
「【地震】 リアス式海岸で津波巨大化 30m 以上にも (11/04/30)」
https://www.youtube.com/watch?v=n_lwAii93Qc , (最終閲覧：2024/01/23)
- ②ANNnewsCH, 2020/01/17,
「東日本大震災 仙台空港での地震発生の瞬間～押し寄せる津波」
<https://www.youtube.com/watch?v=mk68bZ70ls0> , (最終閲覧：2024/01/23)
- ③田中重好, 2013, 「東日本大震災を踏まえた防災パラダイム転換」『社会学評論』64(3)：366-385.
- ④国立環境研究所, 2016, 「気候変動による影響に備える」『環境儀 No.61』
- ⑤国土交通省, 2012, 「コラム 釜石港湾口防波堤の損壊と減災効果」『国土交通白書 2011』
<https://www.mlit.go.jp/hakusyo/mlit/h22/hakusho/h23/html/kl1112ce0.html> ,
(最終閲覧：2024/01/23)
- ⑥石巻市総務部震災伝承推進室, 「震災遺構大川小学校／当施設について」石巻市震災遺構.
<https://www.city.ishinomaki.lg.jp/ruins/okawa/010/20210525140840.html> ,
(最終閲覧：2024/01/23)
- ⑦記憶の部屋・東日本大震災, 「大川小学校を襲った津波の悲劇・石巻」
http://memory.ever.jp/tsunami/higeki_okawa.html , (最終閲覧：2024/01/23)
- ⑧テレ東 BIZ, 2021/03/11,
「大川小学校から「命の授業」～もしもはいつもの中にある～」
<https://www.youtube.com/watch?v=NlX5hTC2L9Q> , (最終閲覧：2024/01/23)
- ⑨日本赤十字社, 2021, 「知ってほしい！避難の妨げになる「正常性バイアス・同調性バイアス」」
『ACTION！防災・減災—命のために今うごく—』9月号,
https://www.jrc.or.jp/about/publication/news/20210901_020612.html ,
(最終閲覧：2024/01/23)
- ⑩鈴木康弘, 2011, 「東日本大震災の「想定外」問題について」『地理』56(6)：78-82.